

学校名 枕崎市立別府中学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>該当校は、小規模校ながら環境美化に独創的、継続的かつ熱心に取り組んでおり、親子で取り組む「飲料あき容器(アルミ缶やペットボトルキャップ、空き瓶)等のリサイクル」や「ボランティア精神を育む美化活動」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与しているため、推薦したい。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) リサイクル活動の動機・頻度 ① リサイクル活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>一年を通して「飲料空き容器(アルミ缶やペットボトルキャップ、空き瓶)等のリサイクル活動」を行っている。</p> <p>ボランティア精神の育成と地域環境改善の実践・美化活動への尽力、生徒会活動費補填を目的に、平成元年頃から始まったものと伝え聞いている。</p> <p>さらに生徒の発案で令和元年度10月に「朝清掃ボランティア活動」が開始された。令和元年度から週1回実施されており、令和6年度も週1回実施している。生徒会を中心に「朝ボラ」と称して校内外の清掃や学校園の手入れを継続しているが、そこでも収集されたアルミ缶の整理整頓を行っている。</p> <p>正式愛称は特になし。 朝清掃活動は、略称「朝ボラ」と呼んでいる。</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>通年でそれぞれの家庭から持参という形で集めているので、月間何回という回数では書けないが、地域全般から収集する小・中合同空き瓶回収は、長期休業中にPTA活動とタイアップして、年2回行っている。</p>

項 目	活動内容等			
④ 活動のエリア	<p>校区全般（日頃は各家庭単位で活動，夏と冬の2回は13区域の公民館単位で活動。） 校区内の商業施設にペットボトルキャップのボックスを設置している。</p>			
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<p>通年でそれぞれの家庭から各自持参という形で集めているが，年に2回の小・中合同空き瓶回収では全校生徒51名のほぼ全員が参加している。</p>			
⑥ 活動1回当たりの平均時間	<p>通年での収集は，登下校や土・日等の休日の部活動参加の際に持参という形で集めているので数分もかからないが，年2回の小・中合同空き瓶回収時は，前日と当日で約2～3時間程度の活動を行っている。</p>			
⑦ 取り扱った回収実績数量				
	品 目	2021 年度	2022 年度	2023 年度
		t : m ³	t : m ³	t : m ³
	アルミ缶	0.2 t (200kg)	0.15 t (150kg)	0.15 t (150kg)
	空き瓶	3,037 本	5,600 本	2,446 本
ペットボトルキャップ	200kg	150kg	230kg	
⑧ 回収した資源物の処理方法	<p>飲料（空き容器等）は，指宿市の業者に，年2回トラックの依頼をして回収してもらっている。 ペットボトルキャップは認定 NPO 法人：世界の子どもにワクチンを日本委員会を通じて新興グループから寄付している。 書き損じハガキは，日本ユネスコ協会連盟へ送付している。</p>			
(2) 活動の独創性活動の特徴	<p>小・中連携教育の一つという側面もあり，小学校 PTA と中学校 PTA も全面的に協力している。 小学校と分担して，お互いの負担が少なく済むスタイルを構築しており，地域を巻き込み，親子で継続的な活動に特徴があると言える。 当初は一升瓶や五合瓶を主に回収の目的としていたが，令和元年度から生徒会活動を一環としたアルミ缶回収を同時に行い，別梱包，別計算で PTA 活動と生徒の活動を両立させているのも特徴である。 この活動を通して，地域の全面的な協力により，空き容器等のリサイクルは，地域住民の自然保護・環境美化意識の普及啓発に尽力している。</p>			

項 目	活動内容等
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	<p>空き缶のみならず，空き瓶等も含めて有価物回収などのリサイクル活動を通じ，ごみ減量化・再生利用に多大な貢献をしている。換金後は，少額ではあるが生徒会活動資金に補填され，生徒総会等で使用目的を生徒の考えで決めているところも特徴と言えるだろう。</p>
② 地域住民との協力活動	<p>生徒の環境美化，環境保全の意識向上と共に，地域住民によるリサイクル活動への協力が，地域住民の環境美化への意識啓発にも結びついている。また，地域住民が子供たちの成長を支える活動に参画するための基盤を整備し続けることは，地域と学校が協力し合って成長し合う，双方向の「連携・協働」を行う活動への足がかりとなっている。</p>
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<p>空き瓶回収前日は，自宅前に空き瓶や空き缶を置くだけで回収してくれる手軽さがあるため，地域住民に大変喜ばれている。また，公民館ごとに声かけや，回覧板や公民館放送で広報していることもあり，地域の結束力や繋がりを再確認することにも役立っている。</p>
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<p>生徒の「資源循環」の意識付けに大きく役立っており，環境教育の基盤づくりと地域コミュニティに繋がっている。</p>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<p>学校通用門にリサイクルボックス（回収カゴ）を設置しており，気軽に長期的に取り組める雰囲気为学校全体に根付いている。また，その気軽な雰囲気が，地球環境問題を考える第一歩であることを生徒会が訴えており，生徒の環境美化意識は学年を上がるにつれ，高くなっている。</p>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<p>前述した通り，毎週水曜日の朝と毎月第2土曜授業の日の朝，生徒会の発案で「朝清掃ボランティア活動」を行っている。生徒会を中心に校内外の清掃や学校園の手入れを継続している。また，放課後は部活動単位で，職員の緑化作業を自主的に手伝うなど，伝統的にも奉仕の精神が強い学校となっている。</p>

項 目	活動内容等
<p>(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)</p>	<p>これまでの実績なし。</p>
<p>(6) 校内外活動のための時間の作り方</p>	<p>全体で取り組むのは、茶摘み体験学習の訪問先までの通路における清掃活動と土曜授業の「愛校作業」である。通路の清掃活動は年1回行い、土曜授業の「愛校作業」は年2～3回を計画し、登校後や下校前の自主的に動ける時間を中心としている。</p>
<p>3 その他特記事項</p>	<p>本校区は、緑茶や甘藷等の栽培が中心の畑作地帯がほとんどを占めており、地域住民や保護者の中には、お茶農家等も多い。 そのことから、地道に勤労する地域の特色や協力的な風土があり、生徒の環境教育全般の土台となっていると考えられる。</p>

提出書類（活動状況がわかる資料：枕崎市立別府中学校）①

